

2018年度 健康科学大学 4年生(卒業時)アンケート

—結果報告—

2019年 12月

健康科学大学

調査概要

1.調査目的

本調査は、2019年3月(2018年度)に本学卒業を予定している4年生を対象に実施し、在学中に得られた成果や学修状況などを把握し、今後の授業方法の見直しや改善などで活用する。

2.調査対象 健康科学大学2018年度卒業予定者

3.調査方法 配布・回収

4.調査実施時期 配布日時:2018年12月11日 回収期限:2018年12月26日

5.依頼数、回収数、回収率

区分	調査対象	依頼数	回収数	回収率
合計	対象者	194	175	90.21%
学科別	理学療法学科	113	108	95.58%
	作業療法学科	44	38	86.36%
	福祉心理学科	37	29	78.38%

6.考察

今年度から実施した「卒業時アンケート」であるが、卒業を間近に控えた学生を対象として、主に在学時の満足度について調査した。

問1から問3について

・「本学に入学してよかったか」について肯定的な回答率が91%と非常に高い数値となったことは、4年生の12月調査という観点においても満足のいく結果となった。今後も教育体制の更なる充実に励んでいくよう鋭意努力しなければならない。
・成長力実感においては、「主体的に取り組む力」と「計画力・実行力」が身につけていないと感じる学生の比率が高かった。この点においては、自分で考え、計画を立てて主体的に取り組む力を教育において熟成していくことが急務であると感じた。
・その反面、チームワーク力・コミュニケーション力においては、良好とする意見の比率が高い数値を示した。この質問は、今後入学直後と卒業前とで比較した数値を出して考察していきたい。

問4から問6について

・学修満足度においては、96%もの学生が満足と回答しており、学習については満足度が高い結果となった。
・「学業と私生活の時間を有効活用していた」という設問に対しては、否定的な意見が24%となり、やや高い数値であるのが気がかりである。学業に影響を及ぼしているものが何なのか今後調査をし、学業を阻害している事象を取り除き、学業に専念できる環境を整備していきたい。
・進路満足度については、87%の学生が満足と評価しており、専門職を養成する本学としては満足のいく結果となった。

大学に対する意見・自由回答欄では、施設・設備への意見が多く、駐車場・エアコン・スクールバス・食堂などにおいて多数の意見があったため、この点においては改善の余地があると感じた。開学から16年が経過し、設備等に関しては現状を維持し、修繕及び改善をし、学生満足度を高めるために学生にとって快適な大学であり続ける努力改善が必要であると感じた。

問1.本学に入学してよかったか

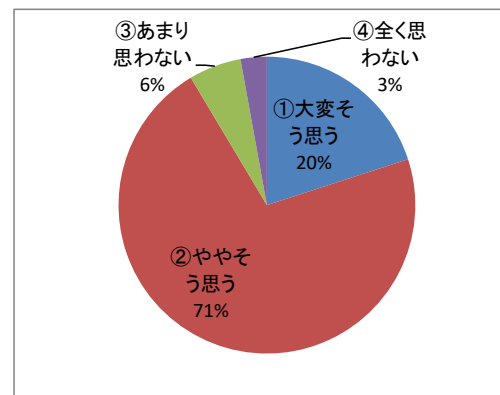
合計	①大変そう思う	②ややそう思う	③あまり思わない	④全く思わない
	35	125	10	5
理学療法学科	21	78	7	2
作業療法学科	7	30	1	0
福祉心理学科	7	17	2	3

回答数175

「大変そう思う」と「ややそう思う」で91%を占めており、非常に高い数値となった。

自由回答

- ・設備に不満。
- ・イベントが楽しい。友達がたくさんできた。
- ・授業が分かりづらい。校内、校外に何もなさすぎる。
- ・実技や臨床的な授業を増やしてほしい。
- ・雪が降ってからの休みの連絡が遅いこと。駐車場がいっぱいなこと。



問2.在学中に力を入れたこと

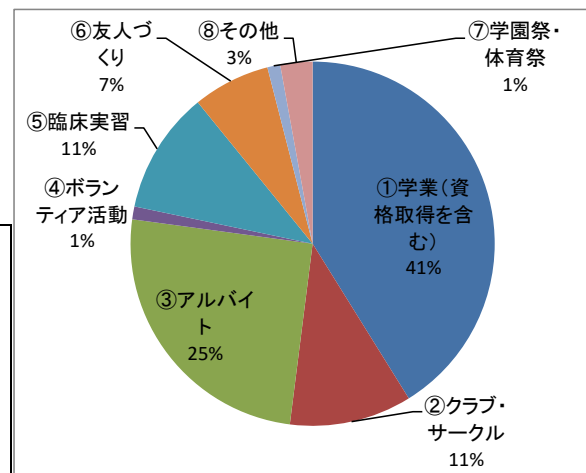
合計	①学業(資格取得を含む)	②クラブ・サークル	③アルバイト	④ボランティア活動	⑤臨床実習	⑥友人づくり	⑦学園祭・体育祭	⑧その他
	72	19	44	2	19	12	2	5
理学療法学科	42	17	26	1	11	7	1	3
作業療法学科	18	0	10	0	8	1	0	1
福祉心理学科	12	2	8	1	0	4	1	1

回答数175

医療系の大学として、また国家資格取得を目標としている本学にとっては、41%の学生が「学業」選択したことは非常に嬉しい結果となった。また、アルバイトを選択する学生が25%と次に続いたことは、授業料の影響が大きいと考える。

自由回答

- ・臨床の実際の現場を体験させていただくことで、疾患やコミュニケーションの理解を増やせることができたと思う。
- ・オーストラリアでの研修、フィジーへの留学。
- ・休み時間などあいている時間に授業の復習を行うようにしていた。
- ・普段の勉強(学業)では学べなかったことが多く、理学療法士を目指すためモチベーション向上にもつながるから。
- ・トレーナークラブを通じて、スポーツについてや触診技術を上げるだけでなく地域の方々とつながりを築くことができた。
- ・多くのことに力を入れていたと思います。どれも良い経験です。
- ・ボランティア活動を通して多くの事を学び、体験できたから。
- ・特定の職種につくことが決まっているので、いろいろな業種でアルバイトした。
- ・実際の現場で今まで学んできた知識がどの程度使えるのか、苦手な部分をどう改善していくのかを考え、行動していたため
- ・臨床での作業療法を実際に身近に見学することができたり、経験をすることができるため、学んできたことを多く体験した。
- ・長期実習の中で、自分に必要な知識・技術を身に付けられた。



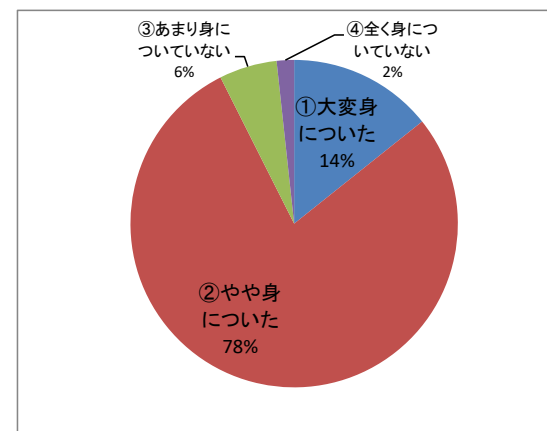
問3.成長力実感について

(1)問題発見力・解決力

合計	①大変身についた	②やや身についた	③あまり身につけていない	④全く身につけていない
	25	137	10	3
理学療法学科	17	83	7	1
作業療法学科	4	32	2	0
福祉心理学科	4	22	1	2

回答数175

(1)から(4)についてはあらかじめ肯定的な意見が多いことは推測されたため、今後は「あまり身につけていない」「全く身につけていない」を選択した8%の学生に対して何らかの教育的配慮が必要であると推測する。

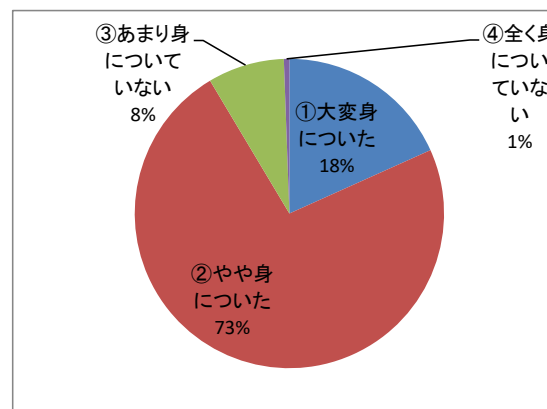


(2)思考力

合計	①大変身についた	②やや身についた	③あまり身につけていない	④全く身につけていない
	32	128	14	1
理学療法学科	21	77	10	0
作業療法学科	6	31	1	0
福祉心理学科	5	20	3	1

回答数175

(1)から(4)についてはあらかじめ肯定的な意見が多いことは推測されたため、今後は「あまり身につけていない」「全く身につけていない」を選択した9%の学生に対して何らかの教育的配慮が必要であると推測する。

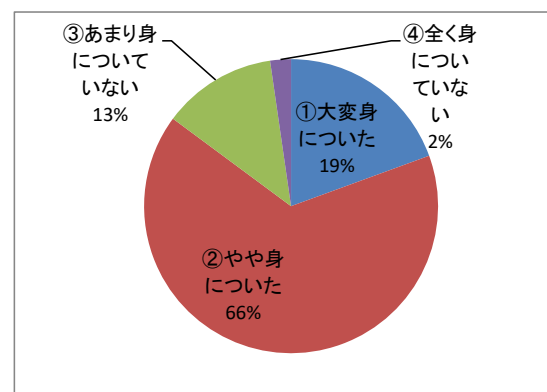


(3)主体的に取り組む力(積極性・チャレンジ精神)

合計	①大変身についた	②やや身についた	③あまり身につけていない	④全く身につけていない
	34	115	22	4
理学療法学科	21	69	16	2
作業療法学科	6	30	2	0
福祉心理学科	7	16	4	2

回答数175

「あまり身につけていない」「全く身につけていない」を選択した学生の割合が21%と若干高い数値を示した。この点については今後何らかの教育的配慮が必要であると推測する。



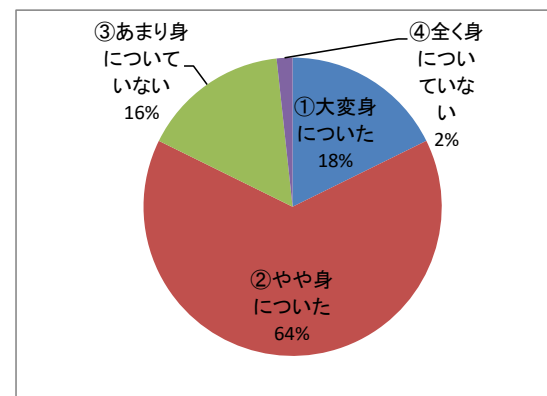
(4)計画力・実行力

合計	①大変身についた	②やや身についた	③あまり身についでいない	④全く身についでいない
	31	113	28	3

理学療法学科	19	68	19	2
作業療法学科	6	27	5	0
福祉心理学科	6	18	4	1

回答数175

「あまり身についでいない」「全く身についでいない」を選択した学生の割合が18%と若干高い主値を示した。この点については今後何らかの教育的配慮が必要であると推測する。



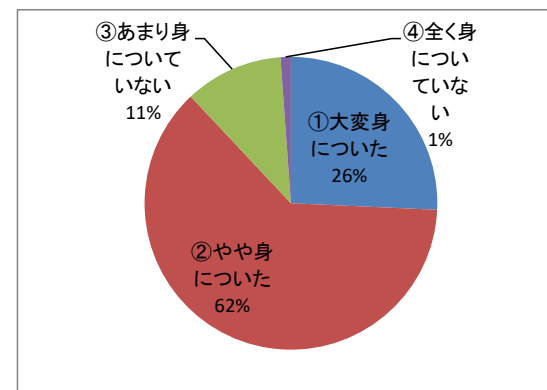
(5)チームワーク力

合計	①大変身についた	②やや身についた	③あまり身についでいない	④全く身についでいない
	45	109	19	2

理学療法学科	27	67	13	1
作業療法学科	9	26	3	0
福祉心理学科	9	16	3	1

回答数175

「大変身についた」「やや身についた」で88%と、特筆すべき高い数値であった。ゼミ活動など全体で学修する習慣をつけてきたこと、チームで協力して発表してきた結果が見て取れる。建学の精神「開かれた共創力」にあるとおり、他の専門職と協同して新時代の医療・福祉を切り開く人材に近づいていると推測する。



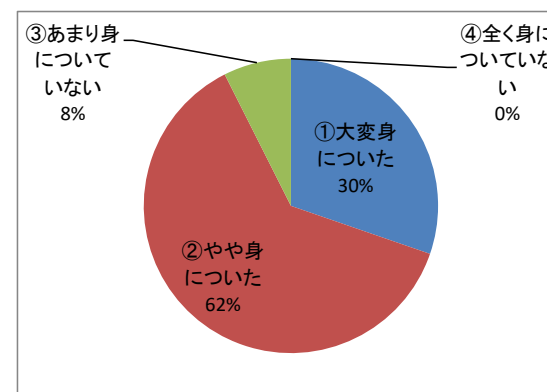
(6)コミュニケーション力

合計	①大変身についた	②やや身についた	③あまり身についでいない	④全く身についでいない
	53	109	13	0

理学療法学科	31	70	7	0
作業療法学科	13	23	2	0
福祉心理学科	9	16	4	0

回答数175

「大変身についた」「やや身についた」で92%と、特筆すべき高い数値であった。建学の精神「豊かな人間力」が身につけていることが見て取れる。入学時と比較して人間力を高めることができ、卒業後も活躍できる人材を養成できているものと推測する。

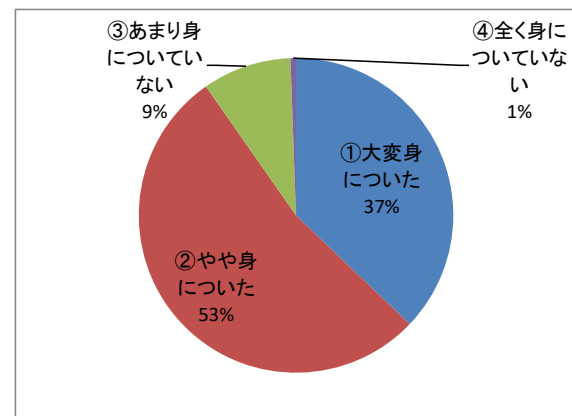


(7)専門知識

合計	①大変身について	②やや身について	③あまり身についていない	④全く身についていない
	65	93	16	1
理学療法学科	38	60	9	1
作業療法学科	18	17	3	0
福祉心理学科	9	16	4	0

回答数175

「大変身について」と回答した学生が37%と、高い数値であった。本学ならではの専門教育が身についたものと推測される。

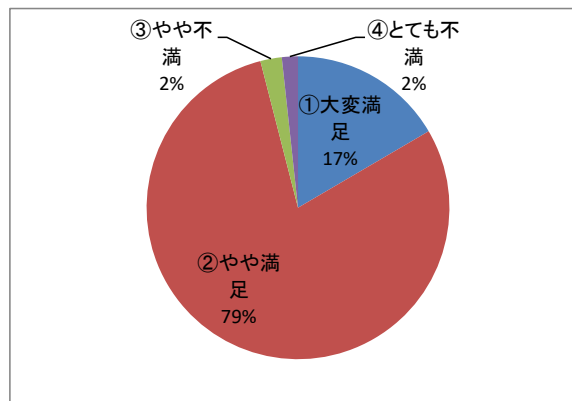


問4.学修満足度

合計	①大変満足	②やや満足	③やや不満	④とても不満
	29	139	4	3
理学療法学科	21	83	3	1
作業療法学科	3	34	1	0
福祉心理学科	5	22	0	2

回答数174

「大変満足」と「やや満足」で96%を占めており、非常に高い数値となった。



自由回答

- ・ただ国家試験をうけるための勉学のカリキュラムしか組まれておらず、課活動や地域とのつながりが全くなかった。
- ・もう少し治療を教えてほしかった。実習で困った。

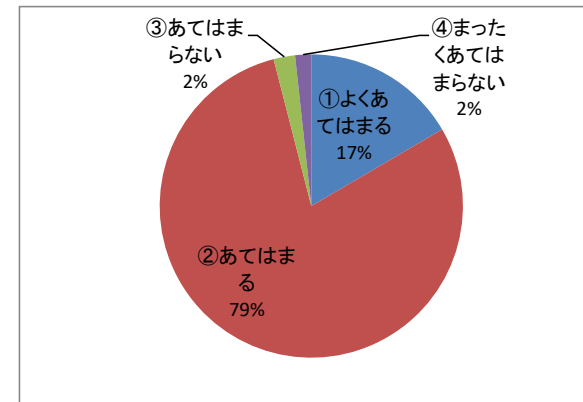
問5.学修状況について

(1)計画を立てて勉強をした

合計	①よくあてはまる	②あてはまる	③あてはまらない	④まったくあてはまらない
	29	139	4	3
理学療法学科	21	83	3	1
作業療法学科	3	34	1	0
福祉心理学科	5	22	0	2

回答数175

「あてはまる」「よくあてはまる」で96%を占めた。通常の講義時における小テストから定期試験、最終的には国家試験勉強に至るまで、計画を立てて勉強をしていくことが重要であるということが分かる興味深いデータとなった。

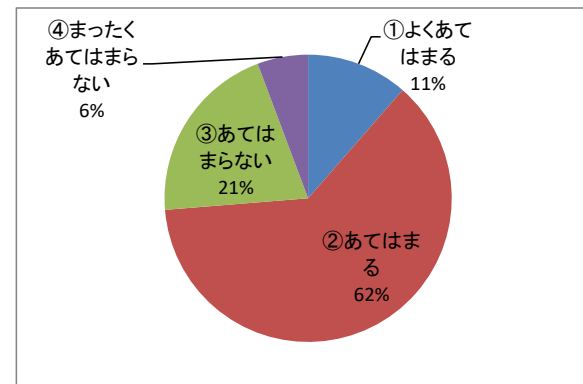


(2)授業でわからない箇所については教員に相談するなど克服しながら勉強をした

合計	①よくあてはまる	②あてはまる	③あてはまらない	④まったくあてはまらない
	20	109	36	10
理学療法学科	10	67	23	8
作業療法学科	6	26	6	0
福祉心理学科	4	16	7	2

回答数174

「あてはまらない」「まったくあてはまらない」が27%とやや高い数値となった。教員だけではなく、ゼミの仲間や友人にわからないことを聞いたり、またネット検索をしたりし、わからないままにせず自分なりに考え、克服しているのではと推測される。

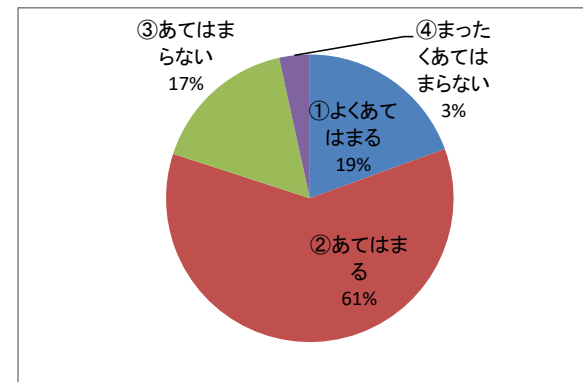


(3)苦手科目であっても良い成績を取得しようと努力した

合計	①よくあてはまる	②あてはまる	③あてはまらない	④まったくあてはまらない
	34	106	29	6
理学療法学科	17	70	18	3
作業療法学科	10	23	5	0
福祉心理学科	7	13	6	3

回答数175

苦手科目とどう向き合っているか、という調査をしたのだが、「よくあてはまる」「あてはまる」の回答で80%であった。極力良い成績を取ろうと努力した形跡がうかがえる。

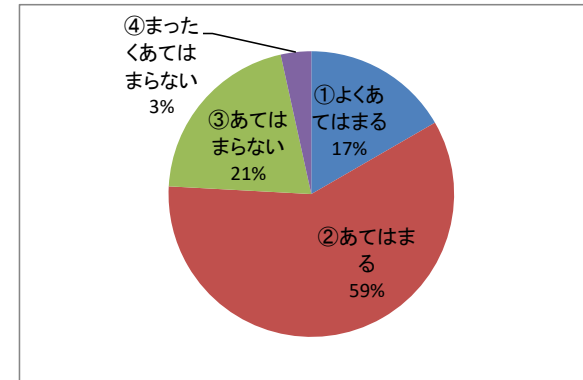


(4) 学業と私生活の時間を有効活用していた

合計	①よくあてはまる	②あてはまる	③あてはまらない	④まったくあてはまらない
	29	103	36	6
理学療法学科	19	65	19	4
作業療法学科	6	20	11	1
福祉心理学科	4	18	6	1

回答数174

「あてはまらない」「まったくあてはまらない」の回答が24%となった。時間を有効に使えない学生の数値がやや高いのは気がかりであるため、今後は原因を探っていく予定である。

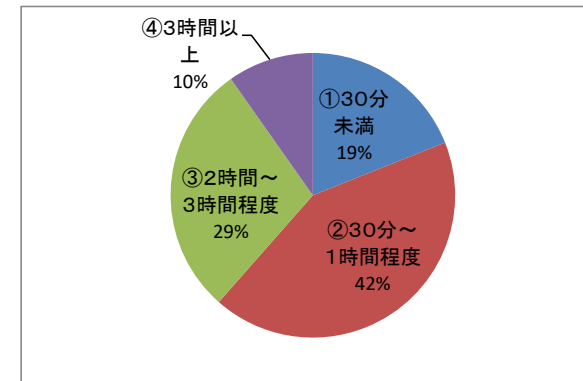


(5) 単位取得のための学修時間(予習復習時間)について

合計	①30分未満	②30分～1時間程度	③2時間～3時間程度	④3時間以上
	33	74	50	17
理学療法学科	20	48	25	14
作業療法学科	8	14	15	1
福祉心理学科	5	12	10	2

回答数174

「2時間～3時間程度」「3時間以上」と回答した学生が39%であり、やや高い数値となったが、30分未満と回答した学生についても19%おり、両極端なデータとなった。



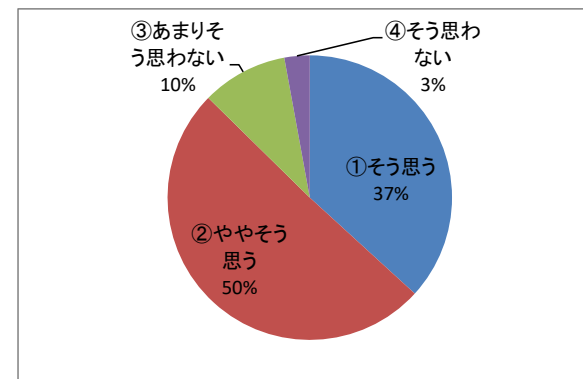
問6.進路満足度

(1) 希望通りの進路か

合計	①そう思う	②ややそう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない
	64	88	17	5
理学療法学科	36	54	15	2
作業療法学科	21	15	1	1
福祉心理学科	7	19	1	2

回答数174

「そう思う」「ややそう思う」で87%となり、満足のいく結果となった。

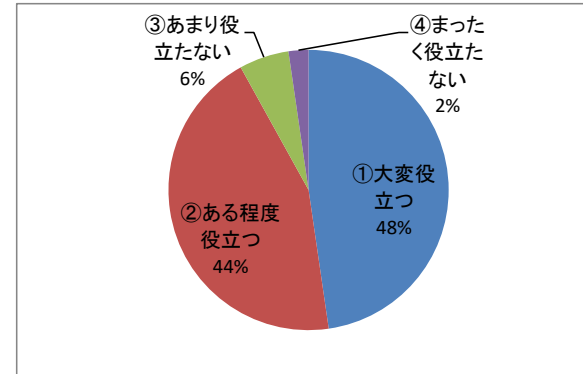


(2)大学で学んだことが進路に役立っているか

合計	①大変役立つ	②ある程度役立つ	③あまり役立たない	④まったく役立たない
	83	77	10	4
理学療法学科	51	48	7	1
作業療法学科	23	13	2	0
福祉心理学科	9	16	1	3

回答数174

「大変役立つ」「ある程度役立つ」で92%となり、満足のいく結果となった。



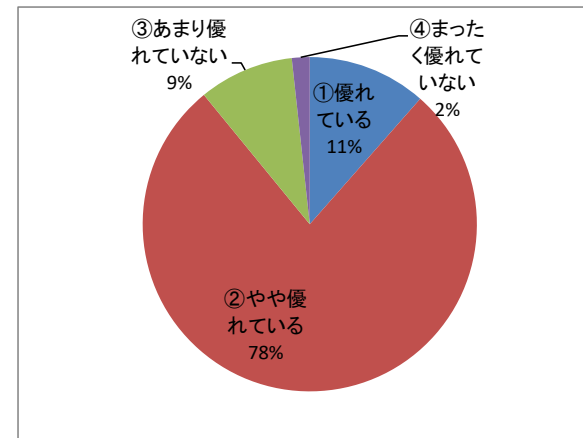
問7.大学に対する意見

(1)授業方法

合計	①優れている	②やや優れている	③あまり優れていない	④まったく優れていない
	20	135	16	3
理学療法学科	16	80	9	2
作業療法学科	1	32	5	0
福祉心理学科	3	23	2	1

回答数174

「優れている」「やや優れている」で89%となり、満足のいく結果となった。



自由回答

- ・実技を先輩じゃなくて先生に指導してもらいたかった。
- ・実技の授業のような時間をもっと取り入れて欲しかった。
- ・先生によってわかりやすさにムラがある。
- ・3・4年で同じ疾患についての授業が多い。

(2)カリキュラム編成

合計	①優れている	②やや優れている	③あまり優れていない	④まったく優れていない
	22	126	23	3
理学療法学科	15	79	12	2
作業療法学科	5	23	9	0
福祉心理学科	2	24	2	1

回答数174

「あまり優れていない」「まったく優れていない」の割合が15%とやや高い数値になったのが気がかりである。この設問も理由を問うて、今後のカリキュラム編成及び教育体制に活かしていけるよう改善の余地があると感じた。

自由回答

・もう少し1年次の時から専門知識とかも加えながら勉強した方が4年次になった時に、実習にも役に立ちそうだと思います。
 ・専門知識を学んでから基礎知識(解剖学、生理学など)について学ぶ方が良いのではと感じる
 (基礎知識がどこで役に立つかわかっていないため身につけにくい)
 ・もう少し国家試験勉強をしたかった。もう少し早めに実習を終えたかった。

(3)成績評価

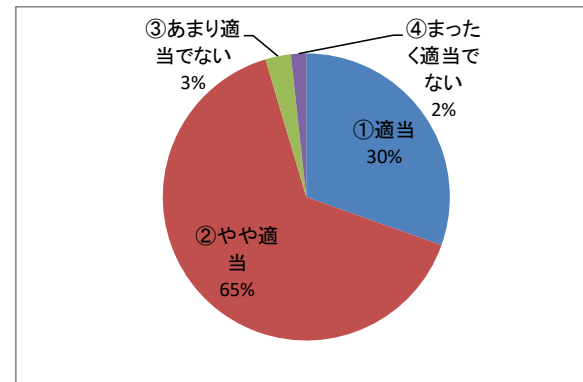
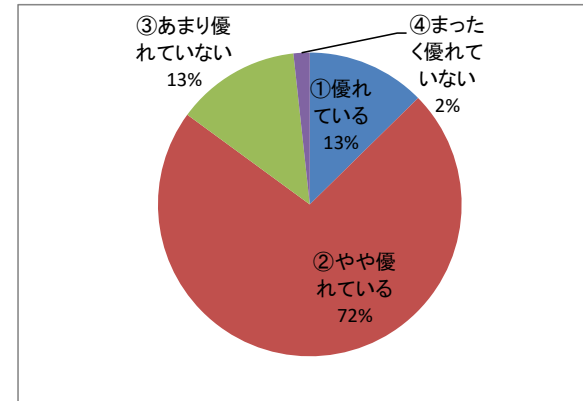
合計	①適当	②やや適当	③あまり適当でない	④まったく適当でない
	53	113	5	3
理学療法学科	33	71	2	1
作業療法学科	12	24	1	1
福祉心理学科	8	18	2	1

回答数174

「適当」「やや適当」で95%と高い数値となった。成績評価については概ね学生は一定の理解を示しているのであろう。

自由回答

・1~3年時で、テストの見直しがないから、どこが合っていて間違っているかを知ることができない。
 ・テストの返却がないので、何を間違えているかわからないまま先生の判断で評価が行われている気がした。



(4) 教員との関係

合計	①良好	②やや良好	③あまり良好でない	④まったく良好でない
	73	97	4	10
理学療法学科	46	60	1	0
作業療法学科	14	21	3	0
福祉心理学科	13	16	0	0

回答数174

「良好」と「やや良好」で93%を占めている。教員とは良好な関係を築けている。

自由回答

なし

(5) 職員との関係

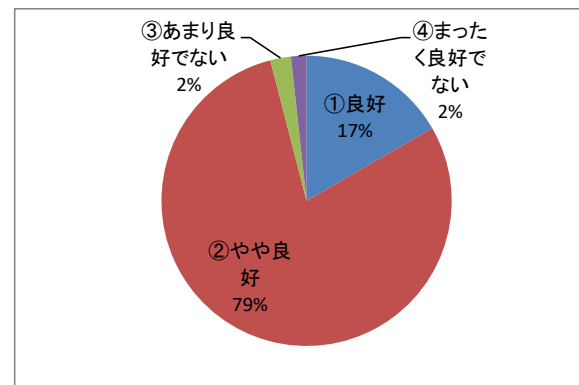
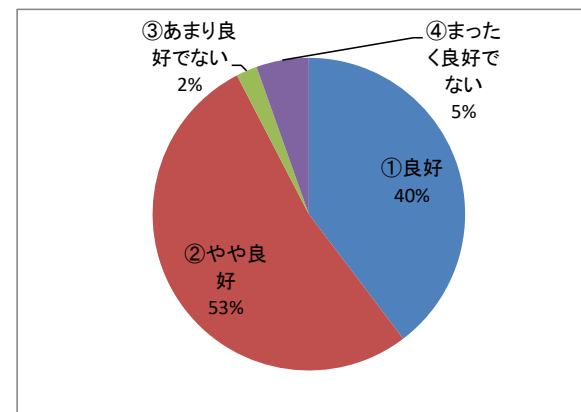
合計	①良好	②やや良好	③あまり良好でない	④まったく良好でない
	29	138	4	3
理学療法学科	41	63	3	0
作業療法学科	14	23	1	0
福祉心理学科	13	14	1	1

回答数174

「良好」「やや良好」で96%を占めている。職員とも良好な関係を築けている。

自由回答

なし



(6)学生支援および就職支援

合計	①適当	②やや適当	③あまり適当でない	④まったく適当でない
	49	112	8	5
理学療法学科	27	73	4	3
作業療法学科	11	23	2	2
福祉心理学科	11	16	2	0

回答数174

「適当」「やや適当」で92%と高い数値であるため、学生支援及び就職支援は概ね良好と思われる。

自由回答

・自力で就職先を見つけて自力で試験を受けなければならなかった。
 ・就職に関してどう進めていくべきかわからなかった人も周りにいたので、もう少し全体で支援があってもよかったと思った。

(7)課外活動

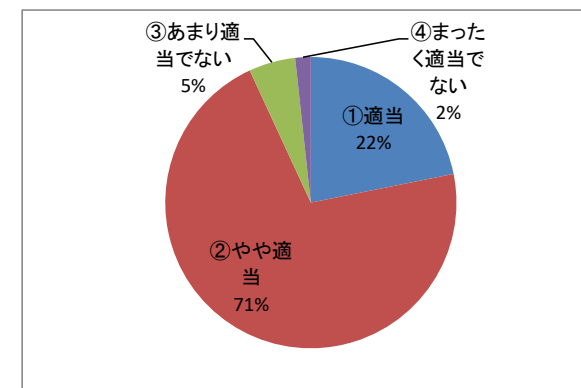
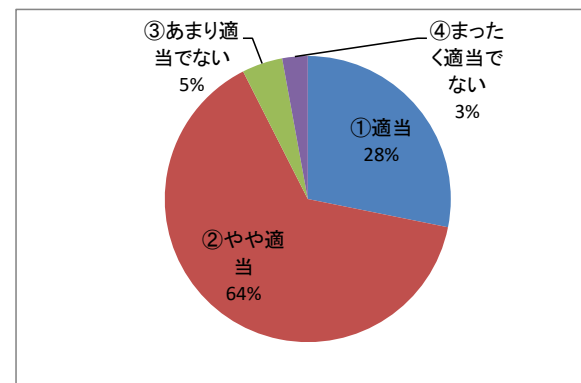
合計	①適当	②やや適当	③あまり適当でない	④まったく適当でない
	38	124	9	3
理学療法学科	27	73	4	3
作業療法学科	6	29	3	0
福祉心理学科	5	22	2	0

回答数174

「適当」「やや適当」で93%となったが、クラブサークル活動をする学生数は減っているため、今後何らかの支援が必要になるであろう。

自由回答

なし

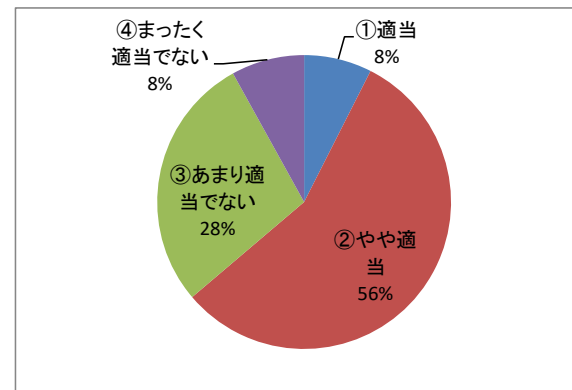


(8)施設・設備

合計	①適当	②やや適当	③あまり適当でない	④まったく適当でない
	13	98	49	14
理学療法学科	8	67	28	4
作業療法学科	2	16	15	5
福祉心理学科	3	15	6	5

回答数174

「適当」「やや適当」で96%となったが、開学して16年目となり、設備投資や経年劣化による修復なども今後の課題として検討していくべきであろう。



自由回答

- ・ATM・喫煙所・駐車場・食堂が狭い等。
- ・図書館開放時間を延ばしてほしい。
- ・階の渡り廊下が雪が降ると危ない。雨だと傘をささなくてはならない。
- ・体育館がほしい。他にも事務室等があるとよい。
- ・山の上にあるから、車を持っていないと不便。
- ・クーラーがあると嬉しい。Wi-Fi環境が整っていると嬉しい。
- ・コピー機がUSBから使用できない。冷房が全部屋にない。外廊下に屋根がないなど。
- ・バスの運行時間が少ない。校舎と駐車場の間のスペースの広さの必要性。
- ・食堂の拡大やメニューの量。
- ・喫煙所やB/C棟にもエレベーターがほしい。

「本アンケートに対する自由コメント欄」

- ・明らかに臨床経験・知識がない状態(1~2年次)での人間発達などの科目の履修は2年生後期または3年前期の方が適切だと思う。
- ・学食が暑い(夏)
- ・4年間とても充実した学生生活を過ごせました。ありがとうございます。卒業試験、国家試験頑張ります。
- ・夏は暑く、冬はとても寒かった。
- ・臨床実習時のアパート探しの手助けなどがあると非常に助かる。5時限以降のバスがほしい。国家試験対策が放任過ぎて不安になる。駐車場が狭い。
- ・周森に囲まれているため、勉学に集中しやすい環境であったため、勉学に集中することができました。
- ・第二駐車場が狭いので、線を引くなどしてなるべく多く車を止められるようにしてほしい。雪の日の判断をもっと早くしてほしい。
- ・卒業アルバム・謝恩会などは外部業者に委託してもいいのでは。